



公 明 党 昭 島 総 支 部

赤沼やすおの議会だより

A K A N U M A ' S N E W S

vol.45

2015年1月 発行

発行者：赤沼やすお
電話：(545) 1820

住所：郷地町3-8-9
ホームページ：<http://www.akanuma.org>



昭島市実施計画 平成27年度～29年度 が明らかに



平成26年12月15日、平成26年第4回定例会閉会後に行われた全員協議会において昭島市実施計画が報告された。これは、平成27年度からの3カ年にわたる計画期間中の事業量を示すもので、これまで市民の皆様からご要望をいただき、予算要望や議会質問等を通じて訴えてきたものが多数反映されている。

主な事業と予算

(単位 千円)

事業名	内容	事業費
東中神駅自由通路等整備事業	設計・用地取得・工事等	3,985,000
(仮称) 教育福祉総合センター整備事業	設計・工事	1,510,800
市民交流センター建替事業	調査・概略設計	10,200
西部配水場太陽光発電設備設置工事	工事	54,000
クリーンセンター敷地有効利用事業	施設の解体等	349,700
公共施設等総合管理計画策定事業	計画策定	20,000
コンビニ交付システム導入事業	住民票等の交付	70,700

歩いて暮らせるまちづくり

公共施設等総合管理計画について

2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、介護・医療費など社会保障費の急増が懸念されることから「2025年問題」といわれる。

同時に、経済成長を中心に造られてきたインフラが、大規模改修や建て替えなど、更新のピークを迎えるため、多額の費用が見込まれる。

【問①】公共施設等総合管理計画を踏まえた、今後の行財政運営の基本的な考え方については？

【答①】新地方公会計制度における固定資産台帳との連携も図りながら計画策定に取り組み、マネジメントを強化する中で、財政の効率化、適正化を図り、自主・自立の行財政運営につなげたい。
公共施設台帳が作成され、市内の公共施設の「見える化」が進んだ。

【問②】市内にある公共施設の延床面積の57.9%を占める学校教育系施設を、そのままの規模で更新した場合の費用負担は？また、学校施設と他の公共施設等との複合化・集約化を図り、維持管理経費を削減する考えは？

【答②】台帳作成において個々の具体的な更新費用の試算は行っていないが、総合管理計画策定にあたっては、中長期的視点、ファシリティーマネジメントの考えを踏まえ、公共施設のより効果的、効率的な管理運営に努める。

歩いて暮らせるまちづくり

コンビニでの各種証明書発行について

平成24年第3回定例会の一般質問において、市民サービスの向上策の観点からコンビニエンスストアでの各種証明書の発行について聞いたが

【問①】都内における実施状況、導入にあたっての費用面の変化、導入した場合の利用可能なコンビニ数は？

【答①】都内区部で5区、多摩26市では3市が導入済み。平成29年度までに更に10市が導入を検討中。

単独自治体で導入の場合は費用面の変化はないが、複数自治体の共同運用により費用負担の削減は可能。

市内38店舗、全国では約45,000の店舗でコンビニ交付が可能。

【問②】導入に対する昭島市の考え方について？

【答②】平成28年1月からの社会保障・番号制の導入に伴う個人番号カードの発行開始に合わせ、具体的な検討を進める。



景気回復の実感を家計へ ― 今こそ、軽減税率の実現へ。

第47回衆議院総選挙「党声明」

血のにじむような奮闘に心より感謝 お約束した政策の実現に全身全霊で

一、第47回衆議院選挙において、わが党は、公認候補を擁立した9小選挙区で完勝を果たし、比例区は前回比4増の26人が当選、合計35議席を獲得する大勝利を収めることができました。35議席は、現行の小選挙区比例代表並立制のもとで過去最高の議席です。公明党に対して深いご理解とご支援をお寄せ下さった国民、有権者の皆さま、また厳しい選挙情勢の中で血のにじむような奮闘で公明党を大きく押し上げて下さった全国の党员、支持者の皆さま、創価学会員の皆さまに、心より感謝と御礼を申し上げます。

一、今回の衆院選は、自公連立政権の責任ある政策で力強く日本の未来を切り開いていくか、責任ある政策を提示できないバラバラな野党に国のかじ取りを委ねるかを問う政権選択の選挙でしたが、自公両党は安定多数の議席を得ることができました。この結果は、一昨年12月の安倍政権発足以来、経済再生とデフレ脱却、東日本大震災の復興加速、社会保障と税の一体改革に総力をあげてきた自公政権に対し、有権者の皆さまが「信任」と「さらなる期待」を明確な形で示して下さったものといえます。政権与党に託された責任の重大さに身の引き締まる思いを禁じ得ません。とともに、わが党が激戦を突破し大勝利することができたのは、現場の声に耳を傾けながら生活者の視点で政策を立案し実現していく公明党の持ち味を連立政権の中でさらに発揮してほしいとの有権者の皆さまの強い期待の表れであると確信いたします。

一、わが党は、選挙戦を通して、企業収益や賃金引き上げを促す「経済の好循環」を確かなものにし、さらに景気回復の実感を地方や中小企業、家計にまで広げていく、また消費税10%引き上げ時には同時に家計の将来を支える軽減税率を導入することを強く訴えてまいりました。わが党に寄せられた有権者の皆さまのご期待におこたえするため、3000人の議員がチーム力とネットワークの力をさらに磨き上げ、お約束した政策の実現に全身全霊で取り組んでまいります。公明党に対し国民の皆さまのより一層のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2014年12月15日

公明党

市議会議員 赤沼やすお通信

No.45 2015.01

<http://www.akanuma.org>

カーブミラーの設置

福島町3丁目7番先は、右側から進行してくる車両が見えにくい交差点であった。接触事故の危険性を危惧する地元自治会の声を市に伝えたところ、新たにカーブミラーが設置された。



皆様の声が反映されました

エレベーターの設置

都営朝日町4丁目アパートは三階建ての住宅で、エレベーターが設置されていなかった。設置を求める地元自治会の声を東京都に届けたところ、順次、エレベーターが設置されることになった。



ご要望・ご相談はお気軽に
赤沼やすお

電話：(545)1820
住所：郷地町3-8-9
E-mail：aka_fab4@yahoo.co.jp

今後の『都営住宅』の募集

2月上旬に ①ポイント方式による募集（家族向けのみ）②単身者向③単身者用車いす使用者向 ④シルバーピア等を予定

※申込み用紙をご希望の方は赤沼やすおまで・・・
ご自宅にお届けします。

公明新聞

◎日刊：1ヶ月 1,887円（税込）
購読のお申し込みは赤沼やすおまで